

科目「体験の言語化」 自己評価ルーブリック

学部 年 氏名

	観点		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
1-1	自分および相手の気持ちを	想像できるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひっかかりは感じるが、それがどのような気もちか表現できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのときの自分および接した相手の気持ちが一つは想像できるが、多面的・多層的ではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのときの自分の気持ちが多面的・多層的に想像できる</li> <li>・しかし、相手の気持ちは一つしか想像できない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのときの自分および接した相手の気持ちが多面的・多層的に想像できる</li> </ul>
1-2		「自分の言葉」で語れるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表面的で借り物の一般的な言葉でしか表現できていない</li> <li>・漠然とした表現しかできていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の中で一度咀嚼した表現」「自分だけの感性の言葉」で表現できる</li> <li>・しかし、公の他者が理解可能な表現になっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の中で一度咀嚼した表現」「自分だけの感性の言葉」で表現できる</li> <li>・公の他者が理解可能な表現ができる</li> <li>・しかし、凝縮された端的な表現になっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公の他者が理解可能な表現ができる</li> <li>・「自分の中で一度咀嚼した表現」「自分だけの感性の言葉」で表現できる</li> <li>・凝縮された端的な表現になっている</li> </ul>
2-1	体験からつながる社会の課題を	発見できるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何のことを言っているのかわからない</li> <li>・体験から社会課題が見いだせていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験から社会課題が発見できている</li> <li>・しかし、まだ漠然としている</li> <li>・また、論理が大きく飛躍してつながっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験から社会課題が発見できている</li> <li>・しかし、体験と社会課題のつながりが断片的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験から社会課題が発見できている</li> <li>・体験と社会課題のつながりが、有機的な流れをもっている</li> </ul>
2-2		「自分の言葉」で語れるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表面的で借り物の一般的な言葉でしか表現できていない</li> <li>・漠然とした表現しかできていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の中で一度咀嚼した表現」「自分だけの感性の言葉」で表現できる</li> <li>・しかし、公の他者が理解可能な表現になっていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公の他者が理解可能な表現ができる</li> <li>・「自分の中で一度咀嚼した表現」「自分だけの感性の言葉」で表現できる</li> <li>・しかし、凝縮された端的な表現になっていない</li> <li>・体験と社会課題とそのつながりを語る際に、自分なりの発想が十分に表れていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公の他者が理解可能な表現ができる</li> <li>・「自分の中で一度咀嚼した表現」「自分だけの感性の言葉」で表現できる</li> <li>・凝縮された端的な表現になっている</li> <li>・体験と社会課題とそのつながりを、自分なりの発想で語れる</li> </ul>
3	体験が学びの意欲へつながっているか		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を経て「知りたいこと」がない</li> <li>・体験を経て「知りたいこと」がわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を経て「知りたいこと」が漠然とある</li> <li>・しかし、何をしたらいいかわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を経て「知りたいこと」がある</li> <li>・それに対して何をすべきかわかっている</li> <li>・しかし、何もしていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験を経て「知りたいこと」がある</li> <li>・それに対して何をすべきかわかっている</li> <li>・資料（文献・WEBなど）を調べ始めている</li> </ul>

科目「体験の言語化」で身につけたい3つの力（教育目標）

- ① 体験を「自分の言葉」で語る力
- ② 体験から社会の課題を発見する力
- ③ 体験を学びの意欲へつなげる力